

芭蕉
オクラレルカ
星空
・
「好奇心に
包まれ__」

地方創生★
政策アイデア
コンテスト
2021

しぜんと、ね 関係したくなる

“やんばる”で「フレキシブルワーク」



舞台は、「世界自然遺産」

公立大学法人 名桜大学
MEIO UNIVERSITY

大宜味村



ヘルサポ



公立大学法人名桜大学
ヘルスサポート

糸洲・垣内・喜入・岸川・橋本・福留・宮田



やんばるが世界自然遺産へ！

やんばる



※やんばるとは沖縄県の北部の地域のことを指す



出典：大宜味村広報誌2021年8月号

やんばるが世界自然遺産へ！

7月26日(月)、国頭村のくにごみ屋内運動場にて、沖縄県主催の世界自然遺産登録視聴会が行われ、オンラインで開催されたユネスコの世界遺産委員会での「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の正式な登録を見守りました。

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて世界遺産リストに登録された「顕著な普遍的価値」を有する文化財や自然のことで、その中の自然遺産のことを世界自然遺産と呼んでいます。

今回、世界自然遺産に登録となった「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、黒潮と亜熱帯性高気圧の影響を受け、温暖・多湿な亜熱帯性気候を呈し、主に常緑広葉樹多雨林に覆われており、世界の生物多様性ホットスポットの一つである日本の中でも生物多様性が突出して高い地域です。

ヤンバルクイナやリュウキュウヤマガメ、ヤンバルテナゴコガネなどこの地域でしか見られない生物も多く、島という閉鎖的な環境で形成されてきた生態系は、非常にもろく弱いため、外来生物の防除や対策、ロードキル防止対策など自然を守っていくというわたしたち一人ひとりの意識がこの自然を次の世代に伝えていくことに繋がります。



長寿のふるさと大宜味村の概要

“世界長寿地域ブルーゾーンの一つに数えられる”

「魅力いっぱいの“やんばる”大宜味村」

長寿の里

芭蕉布の里

ぶながやの里

シークワサーの里

星のふる里

男	1,621人
女	1,442人
計	3,063人
世帯数	1,686

2021年7月末現在



現状と課題：若者流出と高齢化



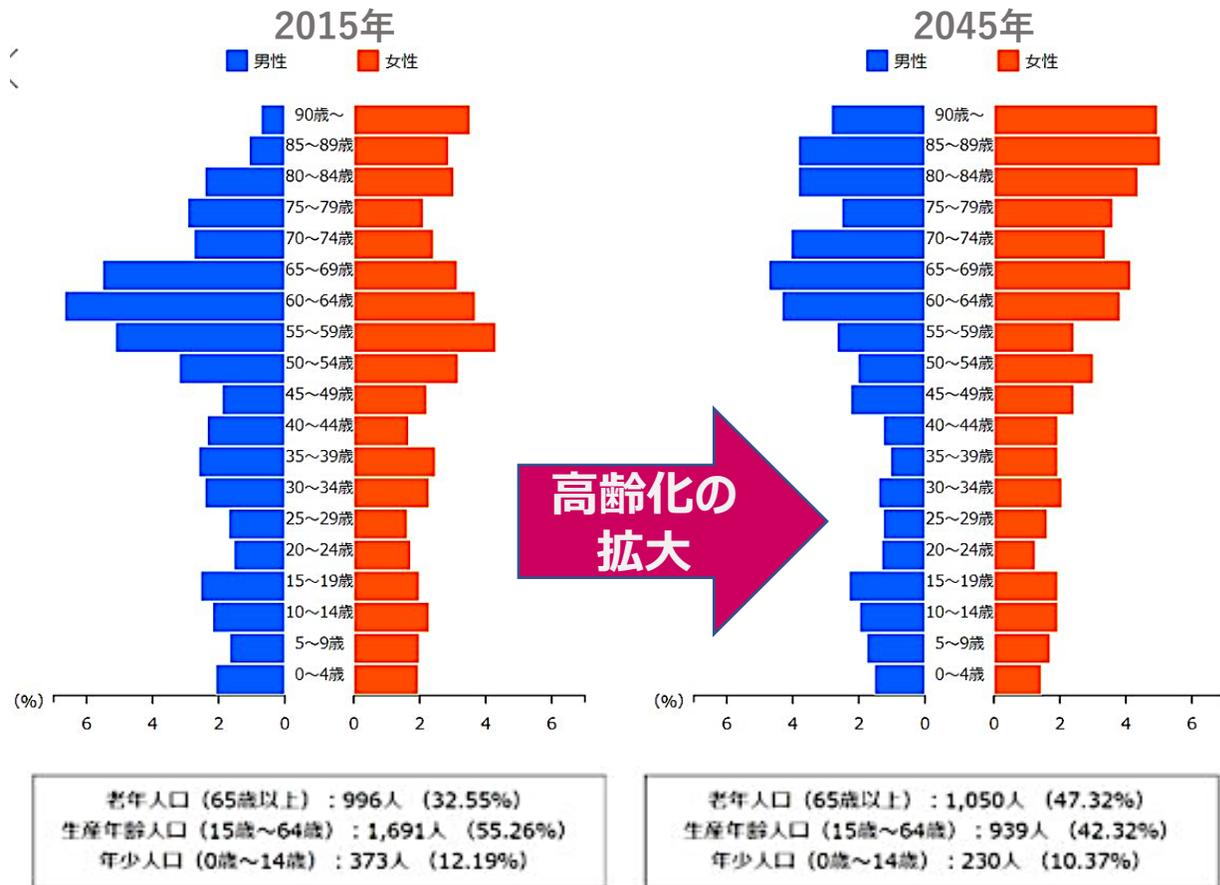
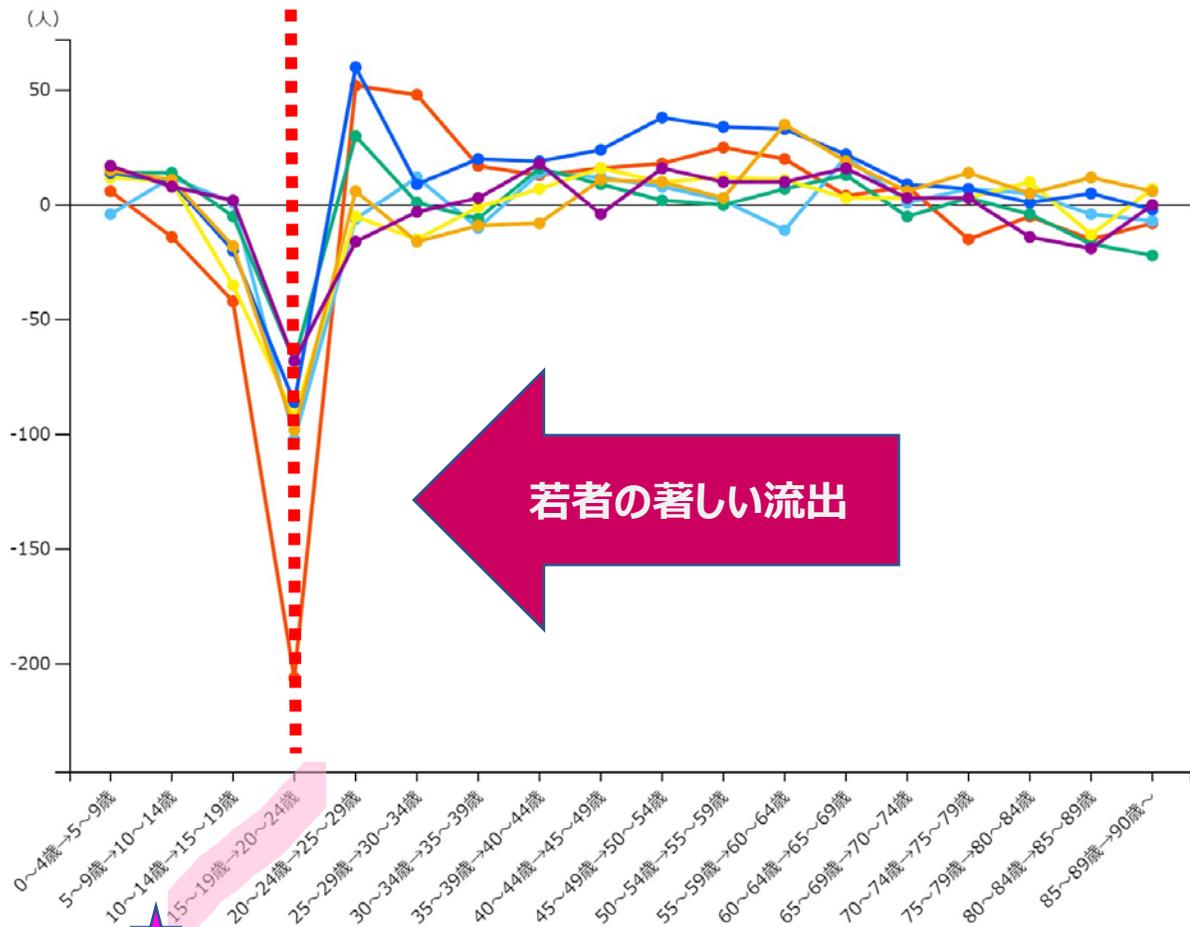
人口ピラミッド
沖縄県大宜味村



年齢階級別純移動数の時系列分析

沖縄県大宜味村

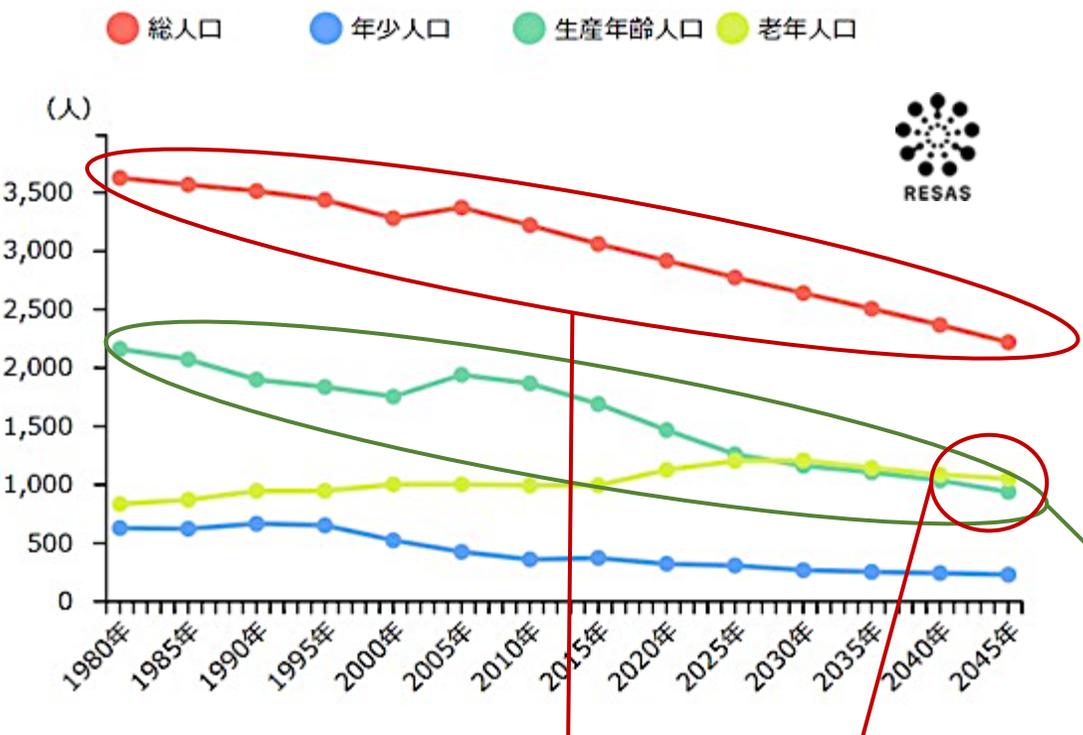
● 1980年→1985年
 ● 1985年→1990年
 ● 1990年→1995年
 ● 1995年→2000年
 ● 2000年→2005年
 ● 2005年→2010年
● 2010年→2015年



若者・高齢者の活躍の場・生き甲斐が持てるコミュニティの創出

現状と課題：生産年齢人口の減少

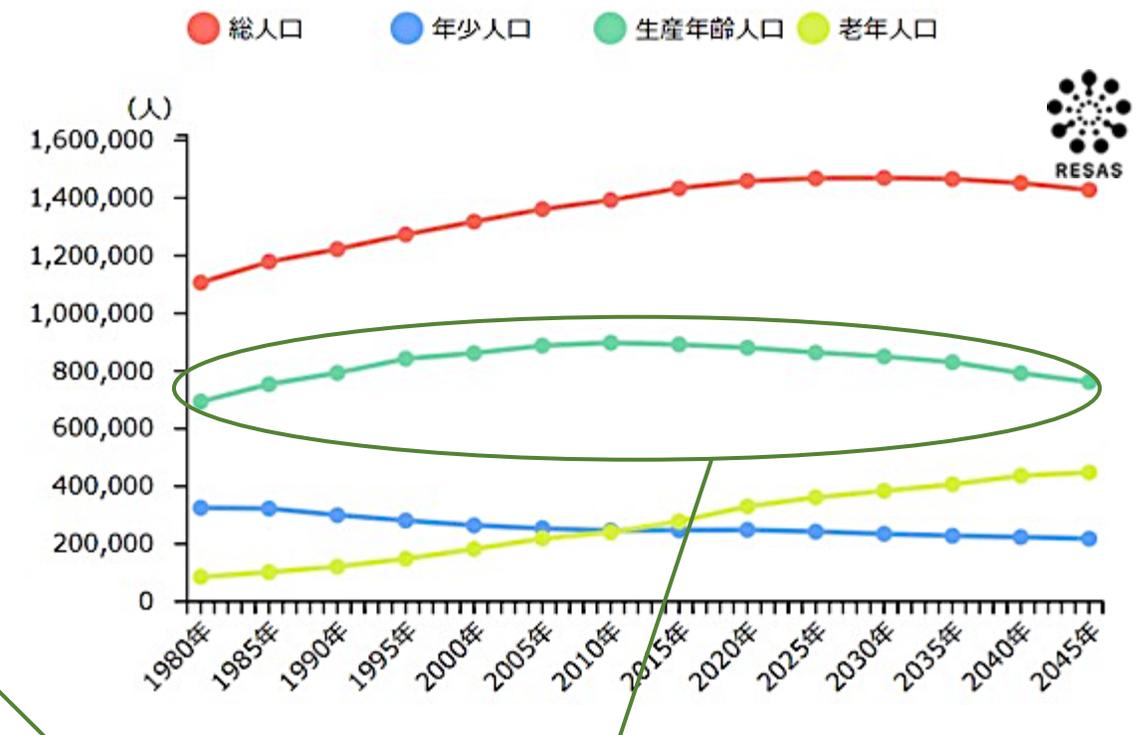
沖縄県大宜味村



総人口の減少
2045年には生産年齢人口が老年人口を下回る

人口推移

沖縄県



沖縄県全体では生産年齢人口はほぼ一定だが、大宜味村はそれに比べて著しく低下している

高齡化に伴って若年労働力の減少…
そして**経済成長にマイナスの影響**を及ぼす可能性も…！

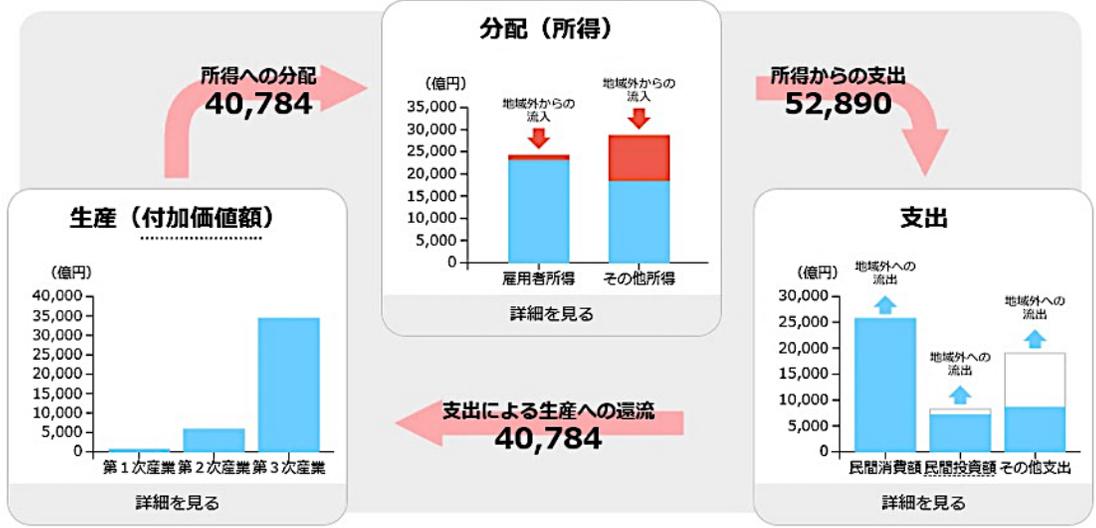


村の衰退
大ピンチ！

現状と課題：沖縄県と大宜味村の経済循環率の比較

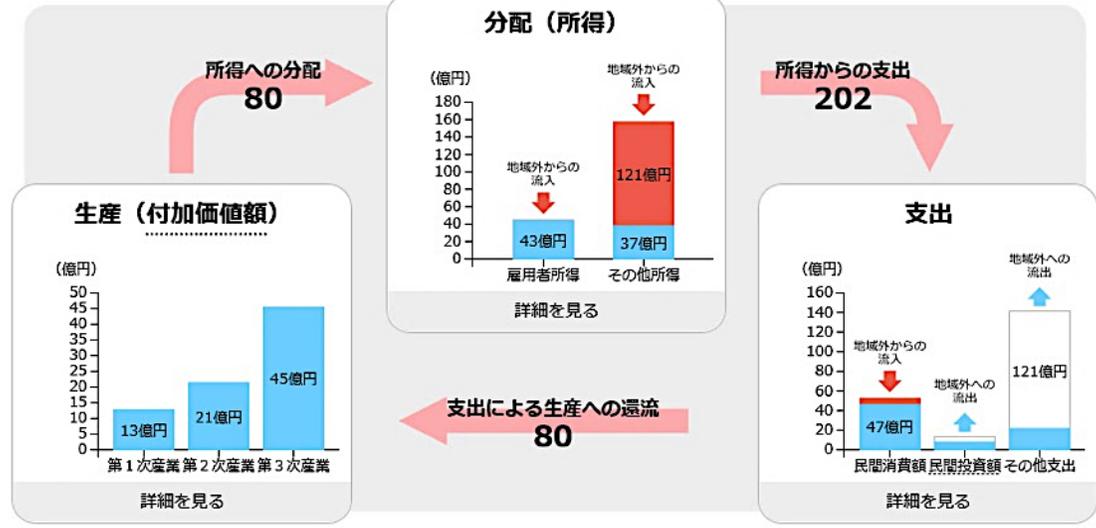
地域経済循環率
77.1%

地域経済循環図
2015年
指定地域：沖縄県



地域経済循環率
39.4%

地域経済循環図
2015年
指定地域：沖縄県大宜味村



【出典】
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

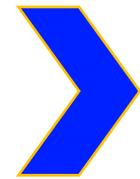
沖縄県



【出典】
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

大宜味村

沖縄県の地域経済循環率は**77.1%**に対し、
大宜味村は**39.4%**と経済循環率が低い



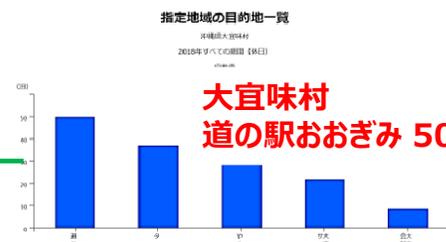
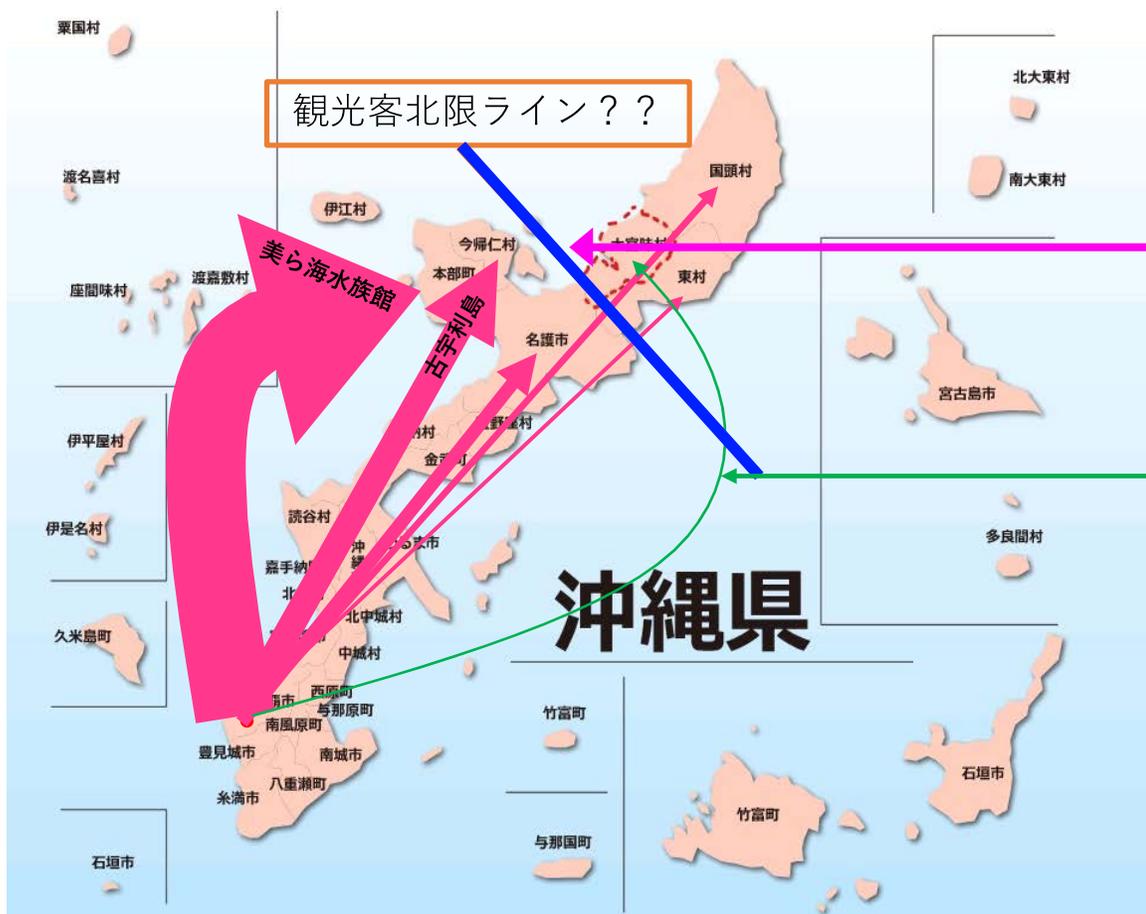
**大宜味村で消費されるお金
が少ない！ 「稼ぐ力が弱い」**

現状と課題：沖縄本島の最大の魅力は“やんばる”にあるのに But...



北部(国頭、東、大宜味)にはあまり人が訪れない。認知度が低い？ → 強烈な美ら海ブロック

美ら海・古宇利島で皆



画像：内閣府 RESASのデータをもとに筆者制作



全ての期間（休日）2020年

やんばるには人が来ない・・・このままでは衰退・・・

いえいえ！それって、むしろ **このままで！**

Key は、産・学・官・民が協働で **関係人口** を創出
「地域イノベーション ブランディングアプローチ」

大宜味村喜如嘉のオクラレルカ畑

世界自然遺産に囲まれ、のどかでフレキシブルにWORKができる大宜味は最高の場所になる至上のポテンシャル！

企業を対象にサテライトオフィスを設置し、地域一体で**関係人口**を創出 **イノベティブな地域づくりへの第一歩へ**

ひらめき： covid-19によるパラダイムシフトにより働き方の大転換

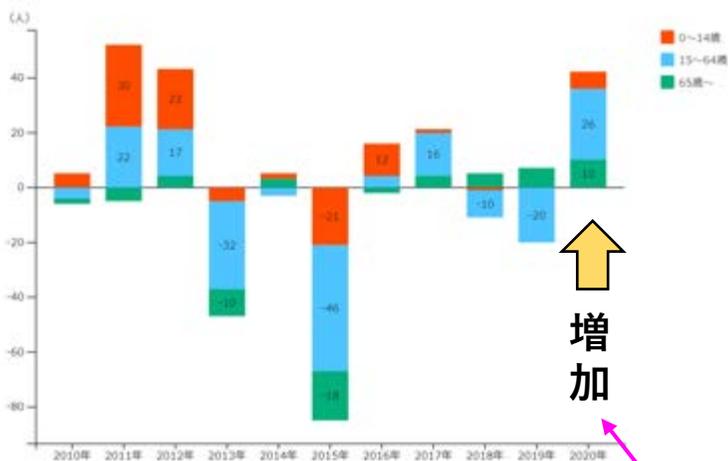


- 東京圏からの転出,東京への転入減少
 - 都道府県外の滞在人口率の減少
 - 市町村内の滞在人口率の増加
 - 大宜味村にも人の流入が
- ※大宜味にオフィスが出来たらもっと人が増えるのでは？

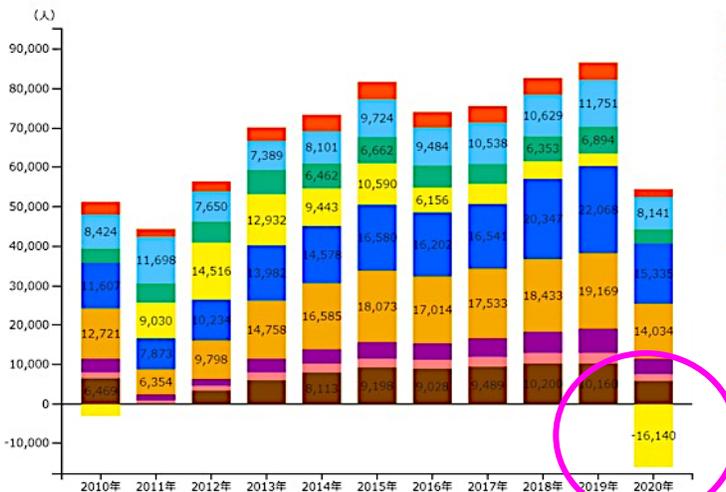
テレワーク推進

もし、“やんばる”に
夢のようなサテライトオフィスがあったら
あなたはいかがですか？

2020年に社会増減が増加！！



RESAS 年齢階層別純移動数 大宜味村



RESAS 東京都の転入超過の現状



RESAS 東京都の滞在人口の動向

covid-19によりテレワーク化が進み、働く場が会社内から“外”へと働き方が多様化する。それに伴いサテライトオフィスの重要性が高まるとともに東京一極化から地方・地域へとShiftする過渡期に突入。



**日本一！
行政機関と仲の良い学生団体！！**



ヘルサポ：地域コミュニティ活性化と健康支援を行う名桜大学の学生を中心とした組織（110名在籍、厚生労働省スマートライフプロジェクト受賞歴あり）



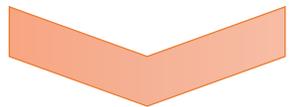
提案：喜如嘉地区に滞在型フレキシブルオフィスを設置



綺麗な海・山・滝・花・星×ワーク

大宜味村の北部に位置する旧喜如嘉小学校を
企業を対象とする滞在型フレキシブルオフィスに！！

📍 グラウンド・体育館にて地域の人が集まる週末マルシェ
📍 レスポンシブル・ツーリズム を開催

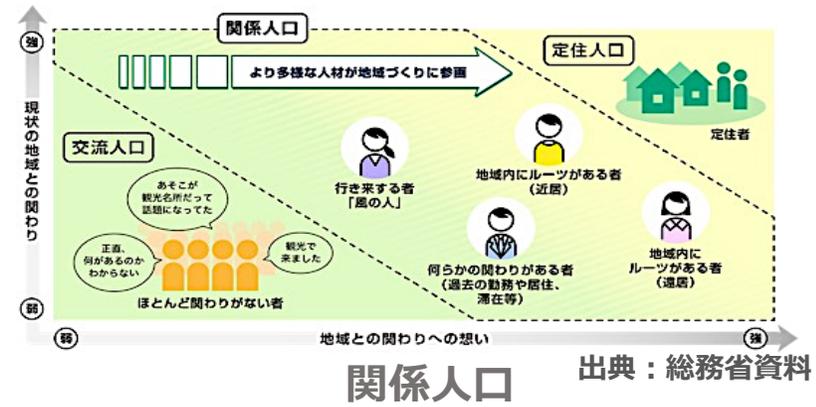


やんばるの大自然の中でワークしながら
週末マルシェで多様なヒト・モノ・コトに触れ合い

最高の時間を満喫し、**関係人口を創出**※



<https://www.google.co.jp/maps/place>



※移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す。

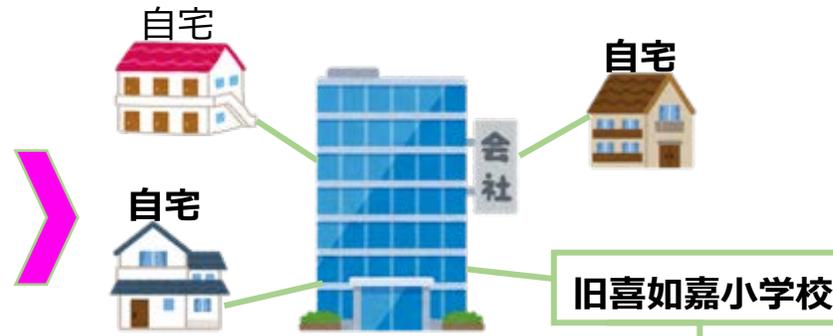
利用者みんなが大宜味のFUNに！
好循環が始まる😊

提案：なぜフレキシブルオフィスとマルシェなのか



①フレキシブルオフィス

コロナ禍で在宅ワーカーが**増**



やんばるの中心で
大宜味村を満喫しながら
リラックスして

+ 仕事ができる

企業 **×** 大宜味 で新しい事業が生まれる

最高

大宜味村が公有施設の活用を考えており、
活用事業者募集が今年9月から始まった**今が旬**な場所

②マルシェ 三人寄れば文殊の知恵

伝えたいのは大宜味村民がたくさん集まれば必ず注目の場所になるということ。世界自然遺産で人の移動も増大

マルシェに企業側や域外人も参加して新しい交流に
大宜味村民中心に開くことで村に活気が出る
高齢者の社会参加の場になる
やんばるを見に来る人が立ち寄る場所になる

関係人口の増加

村の衰退回避

大宜味村で作って販売

大宜味村でお金を消費

地域内循環率向上

提案：旧喜如嘉小学校での滞在型フレキシブルオフィスとは



喜如嘉オフィスで仕事をすると

➡ 関係人口の創出

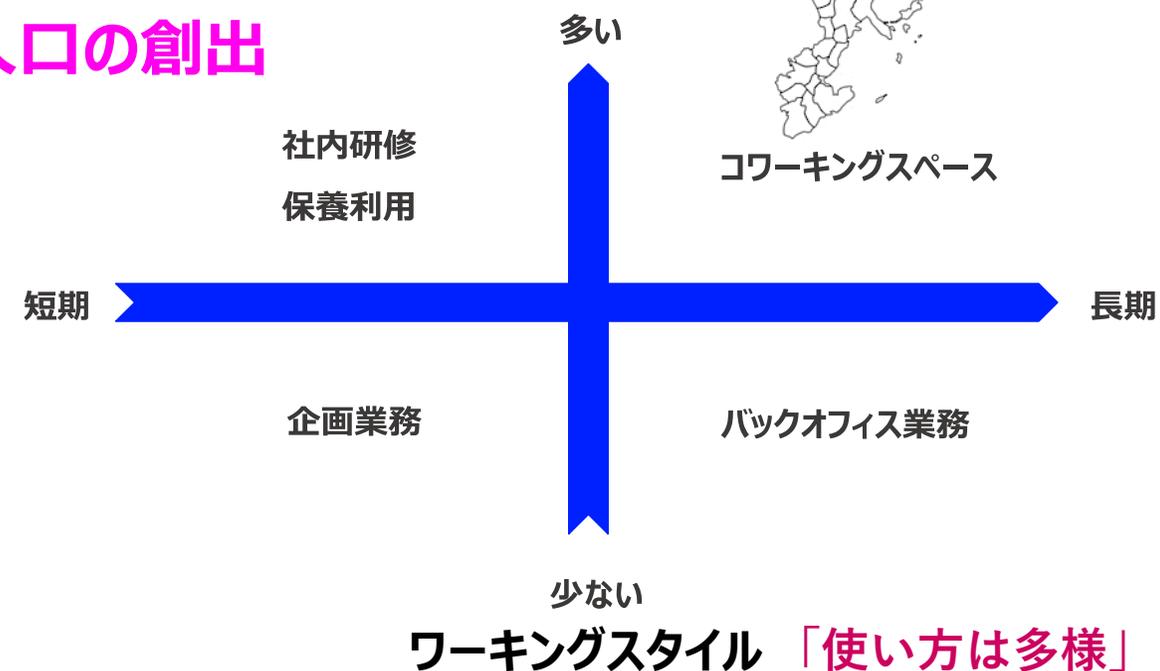
雄大な自然の中でリフレッシュが容易にできる
→仕事に行き詰まった時に徒歩10分圏内に海と山がある

通勤時間ゼロ

地域住民・学生との交流の中で新たなアイデアが生まれる

オフィス棟に来る企業は限定しないのでシェアリングオフィスでの多業種間交流が望める

→福利厚生の一環としてバックオフィス機能を喜如嘉小学校に持ってくる



- ❖ 滞在型オフィスの活用は企業を対象に1ヶ月単位で契約（延長は可能）滞在ルームは5室（4名/1室）
- ❖ 長期滞在・短期滞在はフレキシブル対応で、多彩な業務に対応
- ❖ オフィスはシェア型で自由なワークスペースとする（イノベーション創出）
- ❖ ツアー・健康教室など多彩なオプションを完備
- ❖ グラウンド・体育館にて週末マルシェ開催
- ❖ 電気自動車3台を滞在中は企業間でシェアリングが可能

事業費：
※内閣府：沖縄振興一括交付金（ソフト交付金）（想定）
※内閣府：地方創生テレワーク交付金（想定）
※地方創生推進交付金（想定）

提案：週末マルシェで関係人口創出

- 旧喜如嘉小学校の運動場や体育館を利用し、週末マルシェを開催
- 村民・学生・企業・域外人の交流機会を提供
- おじー,おばー,若者の活躍の場を創出 etc

会場

- ・特産品や加工品の販売
- ・おじー,おばーの得意料理を提供



大宜味村スペース

- ・大宜味のお店
- ・料理教室や三線教室などの提供
- ・学習スペースの提供

学生スペース

- ・JOYBEATや健康測定などの提供



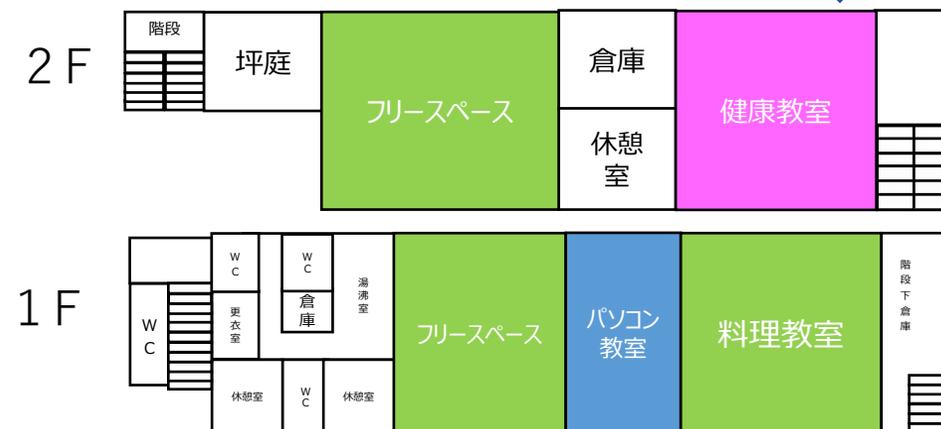
企業スペース

- ・パソコン教室やスマホ教室などの提供
- ・提供者に20%OFFクーポン券の配布→出店したお店で使用可

“大宜味村民は”

長年の長寿に関する取材等で
域外人との関係の下地がバッチリ

マルシェ活用例



提案：オプション「産学官共同ツアー・体験で関係人口創出」



ツアー・体験

「産学官一体でproduce」

「レスポンスブル・ツーリズム」

- ・ジャブジャブツアー・・・塩屋湾の周辺で行う海水・汽水・淡水をカヌーで楽しめるツアー
 - ・やんばるくいなツアー
 - ・喜如嘉・石山展望台・大保ダム 星空ツアー
 - ・やんばるの自然を回る自然を楽しむエコツアー
- etc

電気自動車活用



大宜味村ビジターセンターが催している既存のツアーに加えて新しいツーリズムを企画し、プログラムの作成には名桜大学の学生が関わる。

滞在中はいくつも選ぶことが可能

何度もリピートしたい忘れられないリモートワークへ

シェアリング

滞在者を対象に大宜味村を自由に回れるよう**電気自動車**の**シェアリング**を可能に



エコな滞在を実現



ヘルサポが現在行っている健康支援を施設に出向いて行う！ 交流促進

・JOYBEAT※と健康測定

- ・エイサー体験
- ・おじーおばーの長寿料理教室
- ・芭蕉布体験
- ・大宜味で秘密🔒な体験

地域の人々や学生と積極的な交流の機会を提供



旧喜如嘉小学校のオフィスと宿泊スペース以外の空き教室を活用し体験を行えるようにする。

※CGアニメーションエクササイズ

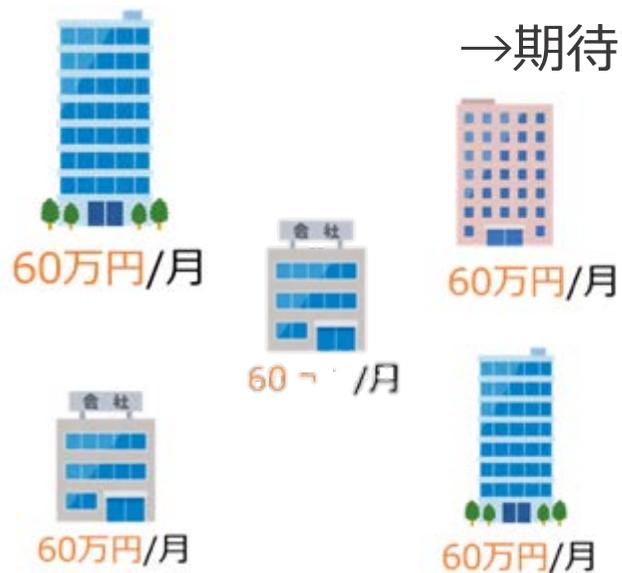


←現在行っている大宜味村での活動の様子

提案：事業費および収支計画

初期費用 **6,000万円** (他の廃校利用の事例から想定算出)

→期待できる交付金：地方創生テレワーク交付金・地方創生推進交付金

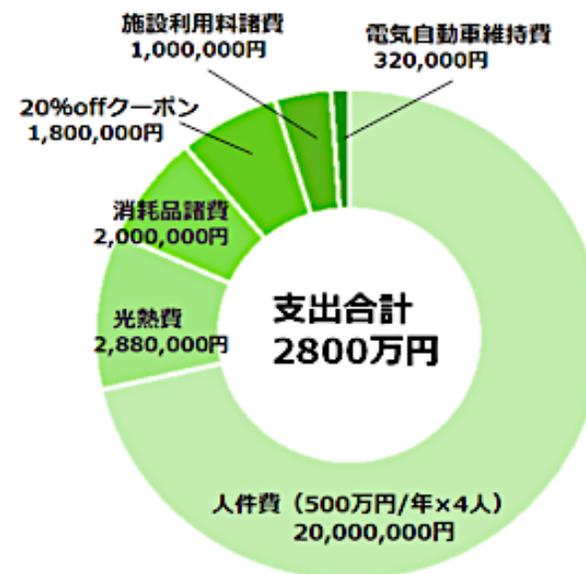


最大5部屋貸し出すと

年間 **3,600万円** の収入

そのうち必要経費で

年間 **2,800万円** の支出



つまり

3,600万円



2,800万円

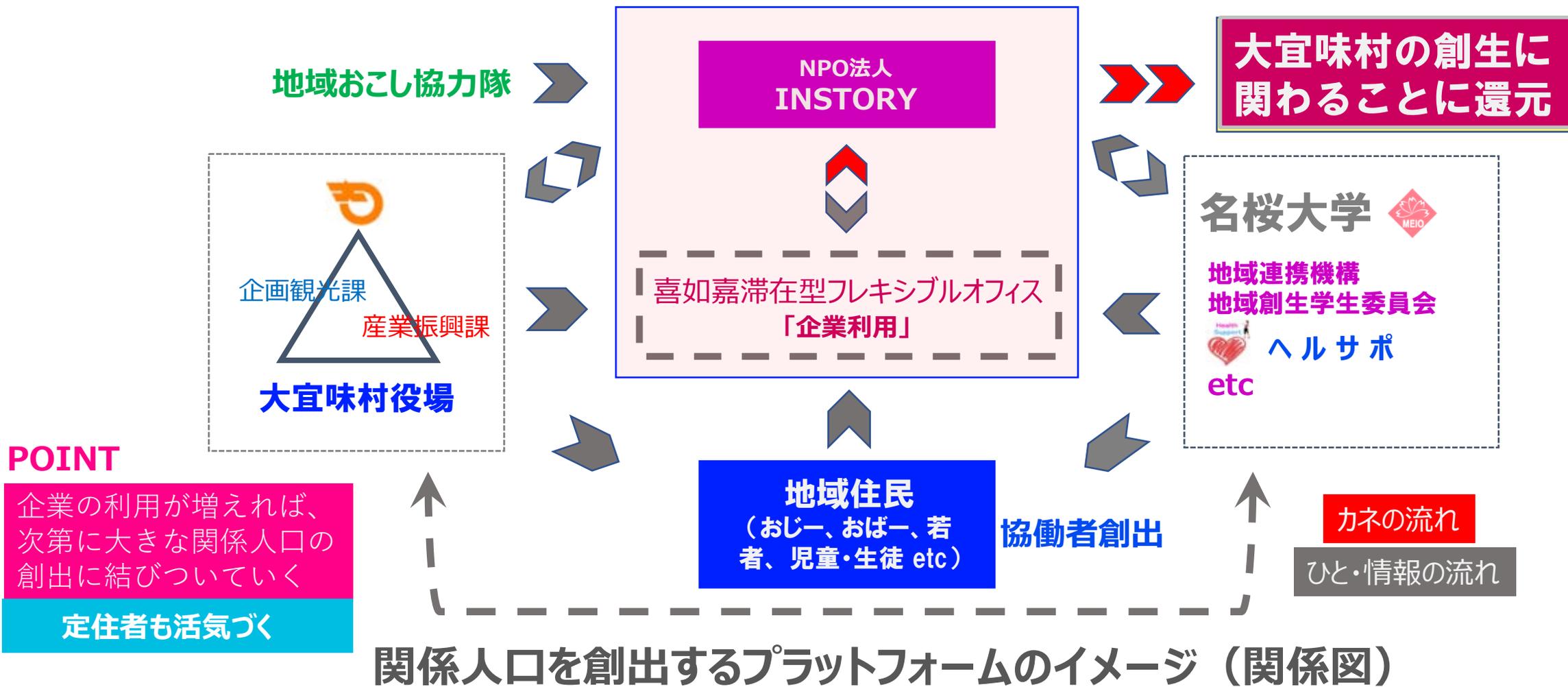


800万円



大宜味村創生に還元できる/年

関係人口を創出し「むら・ひと・しごと」の循環を目指すプラットフォーム



アクションプラン STEP UP and IN THE FUTURE

短期・中期目標

STEP 1
(2023)

旧喜如嘉小学校改修開始
NPO法人INSTORY軌道化

STEP2
(2024)

滞在型フレキシブルオフィス設置
・運営研修連携会議（NPO・ヘルサポ・役場）
・短期・中期目標・計画立案
・KGIの設定

STEP3
(2025)

滞在型フレキシブルオフィス運営スタート
・KPIの検証
・PDCAサイクルの循環

STEP4
(2026)

軌道化
自律・自走化

長期目標

FUTURE
(2025)



(2033)

グラウンドに、最大10棟の宿泊施設を増設

最終的には旧喜如嘉小学校中心に先端なスマートビレッジ構想として加速させる

★ローカル5Gに移行

★モビリティサービスの実現化

（村内に自動運転のバスを走らせ高齢者の行き来を促進）

★利用する企業の参画により、新たなアイデアの創出

企業人の往来・域外人の参画・域内人の活躍

Special thanks

名桜大学人間健康学部教授

高瀬幸一

大宜味村教育委員会

宮城豊

大宜味村役場企画観光課

島袋隆也

大宜味村役場企画観光課

平良一樹



オクラレルカ畑



大宜味村の星空



大宜味村からみえる海

人口減少抑制、地域経済を循環
させるためには
関係人口が増加していく
必要がある。
このアイデアを実現させることが
できれば、
課題解決と活性化が
期待できる！

かんけい じんこう かんげい しんこう
「関係人口を歓迎・振興しよう」